

# 教室の窓

「やったあー、さいじつ」

おかあさんが

いえて

一時間目か

二時間目に

くるっていつてたのに

一時間目から

二時間目まで

いてもらっちゃった

やったあー

うれしいよあー

きょうはさいじつの一日だ

二年生のクラスの女の子が学校公開について書いた詩です。こんな素直な言葉が出て来るなんて、普段の様子からはあまり想像できないのですが・・・。

二学期になってから、毎週一つ詩を書くことにしています。一日の最後に、「詩のタネ」カードにその日の出来事と感じたことをメモしておき、木曜日の五時間目に詩に書いてみんなで読み合いをする。その中から、週末に発行する学級通信に載せる詩を選ぶ。子どもたちは張り切って、読

みたい人の行列ができます。

保護者から、「いつもは見せないお手紙を、聞いてもいないのにうれしそうに顔を見せてきました！」なんて連絡帳をもらったりすると、こちらも嬉しくなります。

「今日も一輪車で転んじやった。明日こそ転ばないようにならばろっ！」

「プールで鼻血出ちゃったよ。はずかしかつたけど、今思うと笑っちゃう。」

「うわあ、今日は歯医者の日だ。あの音が耳の中で聞こえてくる。」

「やったー！今日の晩飯ステーキだあー！」

子どもたちの毎日は、ドラマでいっぱい。そのドラマになるべく短く、簡単な言葉で書くように伝えています。

子どもたちは、「これいいのお？」と聞いてきますが、こちらから言わせてもらえば、「こんな詩、よく書けたねえ！」です。

こんなふうに感じられるのは、きっと、この子たちと一緒に生活しているからなのでしょう。目の前の子どもたちが、意外な一面を見せてくれたり、もつと素直に自分らし

さを見せてくれたり。

詩を読むたびに、その子の世界を少しずつ知り、好きになっていきます。「読みたい！」「学級通信に載せて！」と言ってくる子どもたちを見てみると、本当に自分のことを知ってほしいんだなと感じます。

ちよつと落ち着かない男の子。落し物は多いし、ケンカだつてします。その子が今週、やさしい詩を書きました。

「キャンプの夜」  
キャンプの夜  
トイレにおきた  
かえつていたら  
せいざだ

そんなゆめじやない  
きれい  
きれい  
きれいな  
ほんとうにきれい  
すつとみれたらいいな

今週の学級通信の詩は、これで決まり。載ってるの見たら、あいつどんな顔するだろうなあ。

自分にとって大切なドラマを、自分の五感を通じたシンプルな言葉で語る。

(狛江五小 和泉 航)

## オスプレイ配備撤回を 10.23中央集会



10月23日(火)  
日比谷野外音楽堂  
6時半～7時半

終了後、国会請願デモ

★沖縄・岩国からの報告もあります。

横田基地もいらない  
沖縄と 共に声をあげよう

## 10.27市民交流集会

10月27日(土)

福生市民会館大ホール

10時 DVD「辺野古のたたかい」

13時 講演など

全教共済

月々600円で、給付がいっぱい  
退職時には掛金全額戻ります！



火災や自然災害にも見舞金

お悔やみごとにも

病気・療養にも

嬉しい時にも(結婚祝い金、結婚記念日祝い金、  
出産祝い金、独身の方にはクリスタル給付)